



学校便り

平成23年 1月 7日

広島市立広瀬小学校

校長 中田 浩志

あけましておめでとうございます

新しい年を迎え、静寂だった学校に、子どもたちの歓声が響き、活気が戻ってきました。充実した冬休みだったでしょうか。

今日から3月までの3ヶ月間は、「かがやきのステージ」になってほしいと思います。一人一人の子どもたちが、自分の一年間の成長に喜び感じるとともに、学校生活をともにした先生や友達に感謝する日々が送れたらと思っています。

保護者のみなさま、地域のみなさま、今年も本校の教育活動にご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ひろしま男子駅伝 のぼりで応援

昨年の12月、4年生の子どもたちは、16日に行われる全国都道府県対抗男子駅伝競走大会に出場するチームを応援するのぼりを作りました。こののぼり作りは、一昨年度から続いて3回目です。今年度は、兵庫県と岩手県の代表チームを応援するのぼりを作ることとなりました。4年生は、社会の授業で全国各地のことを学習しているところです。兵庫県と岩手県のことをいろいろ調べ、のぼり作りに取り入れました。4年生が作ったのぼりがはためく中、選ばれたランナーたちが、快走してくれることを祈っています。



12月の参観・懇談会・教育相談、ありがとうございました

12月17日(金) 20日(月)に低学年・高学年に分かれて、参観・懇談会、および、教育相談を行いました。忙しい中にも関わらず、たくさんの保護者の方に来校いただき、ありがとうございました。最近の子どもたちの様子や冬休みの注意など話すことができました。

・道徳の授業の参観でした。皆、先生の話をよく聞いているように思いました。中にはとてもしっかりした自分の意見を言える子がいて感心しました。自分の思いが伝わるように表現できることが授業に限らずいつの場合でも大切で、それが身に付くとよいと思います。

・思った事を発表したり紙に書いたりして、考える授業で、皆自分の意見を持って立派だと思いました。お互いの優しさを大切にしてもらいたいです。